

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	未利用木質資源活用推進事業	会計	一般会計	事業No.	449	施策順No.	57-009
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-26-7		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	林務課		
施策	57省エネ・新エネ活用の推進			事業期間	開始	16	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内住宅、事業所等						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		世帯数(世帯)		37680	37800	37800	37800	
		事業者数(人)		6476	6476	6476	6476	
	意図	ペレットストーブ・ボイラー導入によるペレット使用量の拡大						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	ペレットストーブ導入施設数(台)	11	8	6	7	6	10	B
	個人ストーブ、温泉施設ボイラーによる木質ペレットの使用量(t)	210	597	450	1000	877	1000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	民間の温泉施設へのペレットボイラーの導入もありペレット使用量も増えきた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>林地残材や間伐材、支障木などの未利用木材から生産される木質ペレットを燃料とするペレットストーブ及びペレットボイラーを導入し、化石燃料からバイオマス燃料への転換を図るとともに森林資源の活用を促進させる。                  林産業関係者との連携による需給拡大について、飯田下伊那地区で唯一の木質ペレット生産施設とも連携し、意見交換などを通じて販売戦略に取り組み、有効活用と販路拡大を目指す。                  19年度からは、環境課でおこなっているペレットストーブ・ボイラーへの補助に県補助を上乗せし、木質ペレット利用の促進を図る。                  21年度、ほっ湯アップルにペレットボイラー導入、21年度末より稼働                  22年6月、民間温泉施設2ヶ所にペレットボイラー導入                  21年度、木質ペレット使用量450t                  普及拡大のため、県産材供給体制整備事業により公共施設及び個人向けペレットストーブ導入</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	○木質ペレットストーブ・ペレットボイラー導入 導入したペレットストーブ・ボイラーを活かしたPR・啓発活動 ・個人ストーブ、温泉施設ボイラーによる木質ペレットの使用量の拡大 ・公共施設におけるペレットストーブの導入 ・個人向けペレットストーブの普及	木質ペレットの使用量の拡大 公共施設ペレットストーブ設置台数 個人向けペレットストーブ設置台数	860(t) 27台 6台
23年度実施計画	○木質ペレットストーブ・ペレットボイラー導入 導入したペレットストーブ・ボイラーを活かしたPR・啓発活動 ・個人ストーブ、温泉施設ボイラーによる木質ペレットの使用量の拡大 ・公共施設におけるペレットストーブの導入	木質ペレットの使用量の拡大 ストーブ設置台数 ストーブ設置台数	1000(t) 20台 10台

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)森のエネルギー推進事業補助金(10/10)
	国庫支出金					
	県支出金		800	600	1,000	
	起債					
	その他					
一般財源						
計(A)		800	600	1,000		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)				0		
トータルコスト A+B			600			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	環境に配慮しエネルギーを工夫して大切に使う。	施策の成果指標又はムツ指標	飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量(t)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	未利用木材を利用した木質ペレットを製造することにより森林造成が推進し、ペレットストーブ、ボイラーの普及により二酸化炭素の排出削減につながった。		
	後期に向けた課題		ペレットストーブ、ボイラー本体の価格が石油ストーブなどの価格より高額である。灯油等の価格が影響される。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	木質ペレットの使用量の拡大のため、温泉施設へのペレットボイラー、公共施設へのペレットストーブの導入を促進し、個人向けペレットストーブ設置に向けた普及啓発を行なった。		
	後期に向けた課題		ペレットストーブ、ボイラー本体の価格が石油ストーブなどの価格より高額である。灯油等の価格が影響される。	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	環境モデル都市に「おひさま」と「もり」のエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の創造 をかかげており、市が主導となって行っていく		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	環境モデル都市に「おひさま」と「もり」のエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の創造 をかかげており、市が主導となって行っていく		
	後期に向けた課題	環境モデル都市に「おひさま」と「もり」のエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の創造 をかかげており、市が主導となって行っていく		
全体を通じて	4年間の振り返り	未利用木材の有効利用と二酸化炭素の排出削減により温暖化防止		
	後期に向けた課題	木質ペレットの使用量の拡大のためペレットストーブ等の普及推進		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------